

2019年登録販売者試験in北海道・東北 第三章 & 第五章（一部解説）

【第三章】

問25 次の記述は、神経質・精神不安・不眠等の症状の改善を目的とした漢方処方製剤に関するものである。正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 酸棗仁湯は、比較的短期間服用されることが多い。
- b. 抑肝散は、心不全を引き起こす可能性がある。
- c. 加味帰脾湯は、体力中等度以上の人に適すとされる。
- d. 柴胡加竜骨牡蛎湯は、胃腸が弱く下痢しやすい人には不向きとされている。

正解：b,d○

a: 神経質、精神不安、不眠等の症状の改善を目的とした漢方処方製剤は症状の原因となる体質の改善を主眼としているため、いずれの処方も比較的長期間（1ヶ月位）服用されることが多い。

c: 体力中等度以下。神経質、精神不安、不眠等の症状の改善を目的とした漢方処方製剤は、基本的に「体力ない人向け（体力中等度より下）」なので、例外の、三黄瀉心湯と柴胡加竜骨牡蛎湯（両者ともに体力中等度以上）は特に覚えておく。

d: ダイオウを含むため、その通り。柴胡加竜骨牡蛎湯のキーワードは「便秘などを伴う」なので、そこからもダイオウを含むことが推測できる。

問28 次の記述は、鎮咳去痰薬に関するものである。正しいものの組み合わせはどれか。

- a. ジヒドロコデインリン酸塩は、非麻薬性鎮咳成分と呼ばれる。
- b. デキストロメトルファン臭化水素酸塩は、中枢神経系に作用して咳を抑える成分である。
- c. グアイフェネシンは痰の中の粘性タンパク質を溶解・低分子化して粘性を減少させる。
- d. カルボシステインは、粘液成分の含量比を調整し痰の切れを良くする。

正解：b,d○

a: 「～コデイン」は麻薬性鎮咳薬。

c: 痰そのものに作用するものは基本的に「～システイン」であると覚えよう。

- 気道粘膜からの粘液の分泌を促進する作用を示すもの：「グア」が付く物（グアイフェネシン、グアヤコール）、スルホン酸カリウム、クレゾールスルホン酸カリウム等

- 痰の中の粘性タンパク質を溶解・低分子化して粘性を減少させるもの：エチルシステイン塩酸塩、メチルシステイン塩酸塩、カルボシステイン等

- 粘液成分の含量比を調整し痰の切れを良くするもの：カルボシステイン

- 分泌促進作用・溶解低分子化作用・線毛運動促進作用を示すもの：ブロムヘキシン塩酸塩

d: エチルシステインとカルボシステインの違いは特に注意。

問33 次の記述は、健胃成分に関するものである。正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 日本薬局方収載のセンブリ茶は健胃薬のほか止瀉薬としても用いられる。
- b. 生薬成分が配合された健胃薬は、製剤をオブラートで包む等、味や香りを遮蔽する方法で服用すると効果が期待できる。
- c. カルニチン塩化物は、胃の働きの低下や食欲不振の改善を期待して、胃腸薬や滋養強壮保健薬に用いられる。
- d. 胆汁末や動物胆（ユウタン含む。）は、心臓の働きを高める作用もある。

正解：a,c○

b: 健胃薬は風味が大事なので、オブラートには包まない。

c: カルニチン塩化物：マイナー成分。生体内に存在する有機酸の一種。その働きは必ずしも明らかにされていないが、胃液分泌を促す、胃の運動を高める、胃壁の循環血流を増す等の作用があるとされ、胃の働きの低下や食欲不振の改善を期待して、胃腸薬や滋養強壮保健薬に用いられる。

d: 心臓ではなく、肝臓の働きを高める作用もあるとされる。

問37 次の記述は胃腸鎮痛鎮痙薬に配合される成分に関するものである。正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 抗コリン成分は、胃痛、腹痛、さしこみ（疝痛、癪）を鎮める（鎮痛鎮痙）効果を期待して使用される。
- b. パパベリン塩酸塩は、消化管の平滑筋に直接働いて胃液分泌を抑える作用を示す。
- c. ブチルスコポラミン臭化物は、まれに重篤な副作用としてショック（アナフィラキシー）を生じることが知られている。
- d. オキセサゼインは、胃液分泌を抑える作用はない。

正解：a,c○

b: まず、パパベリンは抗コリン薬ではないことを押さえよう。消化管の平滑筋に直接働いて胃腸の痙攣を鎮める作用を示すとされるが、胃液分泌を抑える作用は見出されない。また、抗コリン薬ではないが、眼圧上昇の副作用があるので注意。

d: 局所麻酔薬とも呼ばれ、胃液分泌抑制作用もある。

【第五章】

問78 消化器系に現れる副作用に関する以下の記述の正誤について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. イレウス様症状は、激しい腹痛や嘔吐、腹部膨満感を伴う著しい便秘が現れる。
- b. イレウス様症状が悪化した場合、腸内細菌の異常増殖によって全身状態の衰弱が急激に進行する可能性がある。
- c. 消化性潰瘍は、自覚症状が乏しい場合もあり、貧血症状の検査時や突然の吐血・下血によって発見されることもある。
- d. 浣腸剤や坐薬の使用によって現れる一過性の症状に、肛門部の熱感等の刺激、異物の注入による不快感、排便直後の立ちくらみがある。

正解：a,b,c,d○

a,b: イレウス様症状：何らかの原因で、腸の中で食べ物や消化液など内容物の流れが止まってしまう状態のことを指す。

c: 消化性潰瘍：医薬品の副作用により胃や十二指腸の粘膜組織が傷害されて、その一部が粘膜筋板を超えて欠損する状態である。

問79 精神神経系に現れる副作用に関する以下の記述の正誤について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 精神神経症状は、医薬品の大量服用や長期連用等の不適正な使用がなされた場合にのみ起こり、通常の用法用量では発生しない。
- b. 無菌性髄膜炎は、大部分はウイルスが原因と考えられているが、マイコプラズマ感染症やライム病、医薬品の副作用等によって生じることもある。
- c. 無菌性髄膜炎は、多くの場合、発症が急性で首筋のつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐きけ・嘔吐、意識混濁等の症状が現れる。
- d. 心臓や血管に作用する医薬品により、頭痛やめまい、浮遊感、不安定感が生じることがある。

正解：b,c,d○

a: 通常の用法用量でも発生する。

b,c: 髄膜とは、頭蓋骨と脳の間が存在している、脳を包み込んで保護している膜のことで、髄膜炎とはこの部分に炎症が起こる病気である。無菌性髄膜炎とは、髄膜炎のうち、髄液に細菌・真菌が検出されないものをいう。ライム病：病原体はボレリアという細菌であり、その病原体を有した野ネズミ・鳥を吸血することで病原体を獲得したマダニが、ヒトを刺すことにより感染する。